

年 頭 所 感



一般社団法人日本マグネシウム協会
会 長 金澤 武

新年、あけましておめでとうございます。

平成 24 年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を顧みますと、我が国におきましては年初において経済回復が見込まれておりましたものの 3 月 11 日に発生した未曾有の東日本大震災やそれに伴う福島原発事故、更には欧州の金融市場の混乱や米国の住宅・雇用改善などの遅れによる超円高などにより国内経済が厳しい減速となり、加えてタイにおける洪水被害が追い打ちをかけることとなりました。

我が国のマグネシウム産業は、主要な需要部門である自動車産業や携帯電子機器産業が深刻化する円高の影響や電力不足対策などにより海外移転が続き、需要回復が厳しい状況になるものと見ておりましたが、2011 年における総合的なマグネシウム供給量としては前年比 5%増程度の横這い推移となり 4.2 万トン台と回復基調にあるものと考えております。特に、純マグネシウム地金の供給においては国内の安定した添加材市場により順調に回復することができました。マグネシウム合金地金については、一部で携帯電子機器の国内生産回帰が伝えられておりますが、震災や洪水によるサプライチェーンの混乱による自動車生産減産への影響が大きいことから前年比 10%近い減少となり 7 千トン台にとどまったものと見ております。

この間、当会では将来の新たなマグネシウム需要部門として期待しております「マグネシウム高速車両構体実用化技術委員会」を創設すると共に SF₆ ガス代替に伴う CO₂ 排出削減量に対する国内クレジットの実施を実現いたしました。また、会員サービスの強化を図りマグネシウム関連情報の充実と共有化を促進するため、協会ホームページの大幅なりニューアルを行い情報提供の増進に努めました。また、東北から九州まで各地域におけるマグネシウム研究開発・事業化プロジェクトも活発に行われて居り大変喜ばしいことと思っております。

海外におきましては、米国の自動車燃費削減対策、欧州の排ガス規制強化などにより自動車部品のマグネ化による軽量化が注目され、マグネシウム価格の安定化もあり順調な成長を実現

しているものと見られます。また、中国においてはマグネシウム製錬における環境対策の改善を実施し、国内需要拡大のための研究開発が促進されると共に韓国ではポスコ社が江陵市で当面1万トン能力のマグネシウム製錬工場の建設、順天市で2m幅のマグネシウム圧延工場の建設、8年間に亘る自動車軽量化のための国家プロジェクトの開始など、将来の安定成長実現に向けた取組が着々と進められる年となりました。

新年を迎え、まだまだ欧米における社会・経済情勢が混沌とする中、新興国や資源国における経済成長や国内市場の力強い回復に期待し、我が国におけるマグネシウム産業の安定成長実現のための基盤の構築に努めたいと考えております。

特に、原材料の安定供給の実現は重要な課題であり、今後のあり方について「マグネシウム製錬懇談会」を設け幅広いご意見を承り適切な対応を進めていきたいと考えております。また、着実な伸張を続けております展伸材や鋳造材事業への支援、マグネシウムに関する各種加工技術の向上、鋭意実施致しております自動車・高速鉄道車輛など輸送分野、携帯電子機器分野などの需要開拓にも積極的に取組みたいと思います。

更には、内外におけるマグネシウム関連団体との幅広い交流を図るため、国際マグネシウム協会（IMA）や中国マグネシウム協会（CMA）などとの連携を更に強めてグローバル化した情報の提供も行ってまいりたいと思っております。

改めて申し上げるまでもなく、「マグネシウム」は実用金属材料の中で最も軽量な特性だけでなく、資源も豊富に賦存しエネルギー源や電極材としても利用可能で人体に必要な元素であることから、広範囲な産業分野で有益にご使用いただける魅力的な素材です。この特性を十分に活かしグローバル化する各需要業界のご要望ご期待に添えるマグネシウム材料のご提供ができるように会員企業一丸となって努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年も我が国マグネシウム産業の伸張と一般社団法人日本マグネシウム協会事業活動の充実に対し何卒倍旧のご支援をお願いいたしますと共に、会員並びに関係各位のご健勝とご発展を心から祈念申しあげ年頭のご挨拶とさせていただきます。